

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年8月31日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	久保建株式会社
所在地	福岡市中央区大名1丁目5番4号
代表者役職・氏名	代表取締役 久保 崇弘
担当者連絡先	電話：092-725-8892
	メール：info@kubo-ken.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.kubo-ken.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要


















当社は、昭和25年より今日まで、保有船舶の近代化、技術力の研鑽、人材の育成に努力し、港湾工事の実績を積み上げてきました。また海洋作業は、気象海象の厳しい条件下で行われる為、平成15年ISO9001、平成21年ISO14001、平成23年OHSAS18001認証を取得し、水産工学技士13名、海上工事施工管理技術者6名、登録海上起重基幹技能者4名を擁し、品質向上・海洋環境保護・安全衛生へ配慮した港湾工事の施工体制を堅持しています。平成17年には浚渫船兼起重機船（16m3浚渫・310t吊GPS測位システム搭載）を建造し、自社作業船において新しい施工法の開発及び技術の向上に積極的に取り組んでいます。さらに、平成21年より「大規模災害並びに事故発生時における支援活動（社会貢献）に関する協定書」を会員である福岡県港湾建設協会と国土交通省九州地方整備局との間で締結し、地元建設業の連携を元に地域社会の安心・安全に貢献しています。
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	海洋保全の一環として、海洋工事施工時において、海の保全・環境保持活動を行う	海洋清掃活動実施率を100%とする
✓環境 □社会 □経済	港湾工事の低炭素化に向けて作業船に排気ガス削減装置を導入	CO2の削減（装置導入前と比較し10%削減）
□環境 ✓社会 ✓経済	港湾工事で働く技術者及び技能者の健康維持、業務効率化による生産性向上に向けての残業時間の削減取組	一人あたりの時間外労働・休日労働時間の月平均を60時間以内とする

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・船体塗料・塗装時使い切りを徹底する ・船体塗料には耐用年数の長い製品を使用し、使用料抑制への取組実施			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・「福岡県河川愛護活動企業」登録による河川清掃活動 ・「福岡県さわやか道路美化促進事業実施団体」登録による清掃活動						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・社員への節水の呼びかけ ・水道使用量の管理 ・節水型トイレの導入						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001認証取得・運用			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・「ふくおかエコライフ応援サイト」にて、毎月自社電気使用量の報告を行っている。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・現場事務所におけるソーラーパネル設置・使用 ・小型発電機の代替品として、ポータブル電源を使用							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・浚渫土砂を有効に再利用												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ISO9001及び45001取得・運用 ・「建設業労働災害防止協会」に加入し、安全・衛生指導や講習の受講			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・各現場における社内検査の実施 ・能力向上の為資格取得、CPDS実施									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・海洋環境改善の一環として、底質改善工事(覆砂工事)の実施						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・福岡県「地域貢献活動評価」認定申請・運用 ・福岡市「社会貢献優良企業」認定申請・運用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・福岡県「地域貢献活動評価」認定申請・運用 ・福岡市「社会貢献優良企業」認定申請・運用				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・「福岡県河川愛護活動企業」登録による河川清掃活動 ・「福岡県さわやか道路美化促進事業実施団体」登録による清掃活動				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・施工時あたり地元業者(下請・物品購入等)との取引を積極的に行う								8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・自社HPでの、SDGS取り組み及び経営理念の公開								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・元・下請契約書中に、反社会勢力に関する記述を盛り込み契約時双方が確認できる仕組みとしている。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・ISO(9001・140001・45001)を運用する中で、担当や業務分担を明確にしている。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・ISO9001において、顧客評価(協力業者一覧表等)により把握。 ・施工後の工事成績の集計・分析結果をもとに、次回の品質向上に役立てている																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・ISO45001の運用																16	
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・企業理念に基づき、港湾土木業務を通じた企業活動で、インフラ整備・環境保護に貢献している																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・【予定】事業継続計画(BCP)を策定									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・後継者の指導・育成の実施								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリー毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

令和 5 年 10 月 17 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	福岡市中央区大名 1 丁目 5 番 4 号
名称：	久保建株式会社
代表者：	代表取締役 久保 崇弘
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋保全の一環として、海洋工事施工時において、海の保全・環境保持活動を行う	海洋清掃活動実施率を 100%とする	令和 4 年度 海洋清掃活動実施率 67%
✓環境 □社会 □経済	港湾工事の低炭素化に向けて作業船に排気ガス削減装置を導入	CO ₂ の削減(装置導入前と比較し 10%削減)	前年比 0.8%の増加
□環境 ✓社会 ✓経済	港湾工事で働く技術者及び技能者の健康維持、業務効率化による生産性向上に向けての残業時間の取り組み	一人あたりの時間外労働・休日労働時間の月平均を 60 時間以内とする	時間外・休日労働月平均 60 時間以内達成

令和 6 年 9 月 9 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	福岡市中央区大名 1 丁目 5 番 4 号
名称：	久保建株式会社
代表者：	代表取締役 久保 崇弘
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋保全の一環として、海洋工事施工時において、海の保全・環境保持活動を行う	海洋清掃活動実施率を 100%とする	令和 5 年度 海洋清掃活動実施率 100%
✓環境 □社会 □経済	港湾工事の低炭素化に向けて作業船に排気ガス削減装置を導入	CO2 の削減(装置導入前と比較し 10%削減)	装置導入前より 8.8%削減
□環境 ✓社会 ✓経済	港湾工事で働く技術者及び技能者の健康維持、業務効率化による生産性向上に向けての残業時間の取り組み	一人あたりの時間外労働・休日労働時間の月平均を 60 時間以内とする	時間外・休日労働月平均 60 時間以内未達成

令和 7 年 9 月 5 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	福岡市中央区大名 1 丁目 5 番 4 号
名称：	久保建株式会社
代表者：	代表取締役 久保 崇弘
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋保全の一環として、海洋工事施工時において、海の保全・環境保持活動を行う	海洋清掃活動実施率を 100%とする	令和 6 年度 海洋清掃活動実施率 60%
✓環境 □社会 □経済	港湾工事の低炭素化に向けて作業船に排気ガス削減装置を導入	CO2 の削減(装置導入前と比較し 10%削減)	装置導入前より 18.8%削減
□環境 ✓社会 ✓経済	港湾工事で働く技術者及び技能者の健康維持、業務効率化による生産性向上に向けての残業時間の取り組み	一人あたりの時間外労働・休日労働時間の月平均を 60 時間以内とする	時間外・休日労働月平均 60 時間以内達成